お知らせ掲示板

こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業の第 16 期開講が決定！！

「こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業」が装いも新たにし、16 期を開講することになりました。2019 年 6 月頃から募集を開始し、8月に全県合同の開講式を神戸市内で実施（予定）！　2カ年で16回以上の講座や実践活動を行います。

こどもの館開館 30 周年記念事業

こどもの館は、2019 年 7 月に開館 30 周年を迎えるにあたり、「児童彫刻アイデア国際コンクール」入選作品の彫刻設置・お披露目や記念誌の発行、記念関連行事を行います。

子どもの冒険ひろばを平成３１年度も実施します

子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを原則に、土・木・水などの自然のものを使い、プレーリーダーや地域の大人が見守る中で、自由な発想でいきいきと遊ぶことができる場所。それが『子どもの冒険ひろば』です。現在、県下で４０団体に補助しています。あなたも仲間になりませんか？　募集期間等は HP に掲示（3月末予定）します。

ＪＫビジネス対策の推進

改正青少年愛護条例に基づき、児童の性を売り物とするＪＫビジネス（有害役務営業）から青少年を保護するため、関係機関と連携し、キャンペーン等を通じて、ＪＫビジネス対策の必要性・重要性を広く県民に呼びかけています。

ふるさとづくり青年隊

平成 30 年度活動報告会と来年度の募集について

◎地域課題に取り組む団体が、さまざまな地域の青年を受け入れ、協働する「ふるさとづくり青年隊」事業。今年度は県内９団体の活動に参加した青年たちが１年間の活動を振り返り発表を行います。青年隊の熱い思いを聞きに、ぜひお越しください！

・日 時　2019 年 3 月 3 日（日）13：00～

・場 所　姫路キャッスルホテル（参加費無料）

◎平成 31 年度ふるさとづくり青年隊事業の地域団体と参加青年を募集します。詳しくは担当まで。

◆ひょうご青少年憲章◆

1 自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう

2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう

3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう

4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう

5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう

6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります

～ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています～

次代を担う青少年を育成するためぜひご協力をお寄せください

会 費　賛助会員（個人）年額１口　2,000 円以上
賛助会員（法人）年額１口 10,000 円以上

賛助会員カードを提示すると、県内の美術館等で
入館料・入園料割引等の特典
を受けることができます

＊詳細は、兵庫県青少年本部、または各地方青少年本部までお問い合わせください

編集後記

今回は、50 周年特集号です。本誌でも紹介している動画「青少年本部の歩み」を見たり、「創立 50 周年記念誌」を読んだりすると、青少年の健やかな成長を願う先人たちの思いがひしひしと伝わってきます。

次代を担う子どもたちには、いろんな人に支えられていることへの感謝を忘れず、毎日を大切に過ごして欲しいですね。（M）

夢がある
一人ひとりが 輝いて
50th

50th Anniversary 青少年ひょうご

No.98
2019 年 2 月発行

編集・発行
公益財団法人
兵庫県青少年本部
Hyogo Youth Services Administration

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 8 階
TEL.078-891-7410 FAX.078-891-7418
http://www.seishonen.or.jp/

CONTENTS

創立 50 周年記念式典……P2～P4

本部事業報告……P5

・スマホサミット in ひょうご 2018
・子どもの居場所づくり交流会 2018
・少年の主張兵庫県大会「中学生のメッセージ 2018」
・出会い・結婚フェア in あわじ
・ふるさとづくり青年隊全県交流会

地方青少年本部だより……P6

青少年施設だより……P7

・いえしま自然体験センター
・こどもの館
・神出学園
・山の学校
・兎和野高原野外教育センター

お知らせ掲示板……P8

地方青少年本部

阪神南青少年本部	阪神北青少年本部	東播磨青少年本部	北播磨青少年本部	中播磨青少年本部
06-6481-4634	0797-83-3138	079-421-9105	0795-42-9352	079-281-9198
西播磨青少年本部	但馬青少年本部	丹波青少年本部	淡路青少年本部	神戸事務部
0791-58-2131	0796-26-3648	0795-72-5168	0799-26-2048	078-382-8249

創立 50 周年記念式典を開催しました

当本部の創立 50 周年記念式典を平成 30 年 10 月 27 日、神戸市中央区の兵庫県公館で開催しました。関係者ら約４６０人が出席して 50 年の歩みを振り返り、青少年問題のこれからの課題などをともに話し合いました。

当本部は昭和 43 年、県民総ぐるみの青少年育成活動の推進母体として誕生し、青年洋上大学や兵庫・沖縄友愛事業などの事業を開始。昭和 60 年の財団法人化後は、こころ豊かな人づくり 500 人委員会、青少年を守り育てる県民スクラム運動、山の学校や神出学園の運営などに取り組んできました。

近年は独身男女の縁結びを仲介する「出会いサポートセンター事業」、「ふるさとづくり青年隊事業」、「青少年のネットトラブル防止大作戦」などにも力を注いでいます。

創立 50 周年記念式典

主催者あいさつ

ひょうご青少年憲章を今一度心に刻み、青少年とともに未来を切り拓いていきます

梅谷順子　当本部理事長

来賓あいさつ

スマホ問題など、新しいポスト 50 年の取り組みに期待しています

井戸敏三　兵庫県知事

子どもたちの健全育成を支える本部の活動を今後も応援します

松本隆弘　兵庫県議会議長

特別功労者表彰、青少年本部表彰が行われ、当本部会長の井戸知事と梅谷理事長が受賞者に表彰状などを手渡しました。

特別功労者表彰（11 人）

荒西　完治（阪神北青少年本部 本部長）　小林　剛（兵庫県立神出学園 学園長）
坂本　津留代（兵庫県青少年本部 評議員）　清水　昭男（淡路青少年本部 本部長）
髙木　慶子（兵庫県青少年本部 評議員）　塚本　哲夫（兵庫県青少年本部 評議員）
富永　千世（兵庫県青少年本部 理事）　中尾　信也（兵庫県青少年本部 理事）
永田　萠（兵庫県青少年本部 元評議員、新憲章起草委員）
中村　留美（兵庫県青少年本部 評議員）　渡邉　康夫（兵庫県青少年本部 監事）

平成 30 年度兵庫県青少年本部表彰（18 人、４団体）

青少年等の表彰

【個人】石﨑　栄志（日本ボーイスカウト兵庫連盟尼崎第７団）
岩尾　一樹（尼崎市スポーツ少年団）
桐月　美樹（特定非営利活動法人生涯学習サポート兵庫）
桑　和資（日本ボーイスカウト兵庫連盟神戸第 60 団）
宍戸　成貴（西宮アウトドアリーダーズコミュニティ）
西村　奈都（ガールスカウト兵庫県連盟第 12 団）
藤原　怜苑（県立こどもの館）

【団体】SWING-BY 実行委員会（猪名川町）　中町北小学校播州歌舞伎クラブ（多可町）

指導者等の表彰

【個人】池田　好信（日本ボーイスカウト兵庫連盟）　小椋　治朗（三木市剣道連盟）
片岡　能婦子（猪名川町青少年健全育成推進会議）　方山　薫（兵庫県青年洋上大学同窓会丹波地区）
相良　三千夫（日本ボーイスカウト兵庫連盟はりま地区）　髙原　久人（高砂市スポーツ少年団）
堤　清（日本ボーイスカウト兵庫連盟姫路第２団）　中島　靖浩（日本ボーイスカウト兵庫連盟阪神さくら地区協議会）
東山　操（猪名川町子ども会連絡協議会）　三木　守幸（リトル白鷺エンジェルス スポーツ少年団 ）
山田　榮（宝塚市青少年育成市民会議）
【団体】演遊舎（加古川市）　小野市少年剣道教室・柳心館（小野市）

岡田 元サッカー日本代表 監督が講演！

岡田 武史氏
ＦＣ今治オーナー
サッカー日本代表元監督

考えるより、行動の一歩が大事

生きるうえで大切なのは、夢や目標。それを掲げてチャレンジすることが大事。まずは目の前にある“小さな夢”をやってみる。それで次の一歩が見えてくる。考えないで、まずは動いてほしい。若い人にそういう一歩を踏み出させてあげたい。大人も言うだけではダメ。夢や目標に挑戦して模範を示すことが大切。それで人生が豊かになる。

次世代に、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会を残したい。地球は、未来に生きる子どもたちから借りているもの。傷つけたり壊したりせず、より良い社会を残していこうという思いで活動していきたい。

（要旨抜粋）

ダンス！パフォーマンス MORTAL COMBAT NEXT GENERATION

当本部の「ふるさとづくり青年隊」事業に取り組んだ「伊丹郷町商業会」が育てた若手ダンサー集団「MORTAL COMBAT NEXT GENERATION」が出演！　軽快で力強いダンスを披露して会場を魅了しました。

兵庫の若者 ３４１人の アンケート 結果を紹介

兵庫の若者３４１人を対象にしたアンケートの結果を報告。夢を持つ若者は半数を上回ったが、将来への不安も垣間見られました。

若者 10 人が「しゃべり場」夢や理想語る

コーディネーター
山崎清治・生涯学習サポート兵庫理事長
（兵庫県青少年団体連絡協議会副会長）

当本部の事業に関わる若者 10 人が自由に意見発表する「しゃべり場」を実施しました。自分の考えを紙に書いて公開する即答フリップ方式で、青少年が将来の夢や社会に求めることなどを訴えました。

まだ知られていない生物を発見して世界に広めたい

“やってみる”を否定しないで

頑張ろうとしていることに「夢」は隠れている。それに気づかせることが大人の役割。もっと対話を増やそう

声優になりたい。でも、とても狭き門…

失敗を怖れずにチャレンジができる社会であれば

「しゃべり場」での主な発言

記念式典　活動団体・施設のパネル・ブースを展示

式典会場には、青少年本部事業参加団体、兵庫県青少年団体連絡協議会加盟団体、地方青少年本部、青少年本部各施設などがパネルやブースを展示し、日ごろの活動や若者からの意見などを紹介しました。

みんなでつくる50周年!!

当本部では、前年度から記念事業検討委員会を立ち上げ、みんなで盛り上げようと知恵を絞ってきました。

ひょうご青少年活動フェスティバル企画運営委員

式典の第３部「ひょうごからの発信～若者たちによる未来への発信～」を担当。ダンスパフォーマンスやしゃべり場、ブース発表を企画・実施しました。

日本ボーイスカウト兵庫連盟 ガールスカウト兵庫県連盟

ボーイスカウト・ガールスカウトの小学６年生４人が表彰式の介添え役を務めました。

「青少年本部の歩み」を上映

当本部の創立から現在までの時代背景を説明しながら、足跡を紹介する動画を上映しました。イラスト、声の出演、制作などはすべて当本部職員による手作りです。
なお、この動画は当本部のホームページでご覧になれます。

県立兵庫高等学校

兵庫県と沖縄県が友愛事業を展開するきっかけとなった島田叡知事（沖縄県最後の官選知事）の母校・兵庫高校が協力。同校の２人が司会進行を、吹奏楽部 75 人が音楽を担当しました。

また、全国３位の実力を持つ書道部が 50 周年のキャッチフレーズ「夢がある　一人ひとりが輝いて」を揮ごうし、作品を会場に展示しました。

県立山の学校

山の学校の生徒は、けやき・とちの木を加工した花台を約５００個製作、式典の記念品として参加者に配布しました。

創立 50 周年記念誌を発刊

これまでの歩みや取り組みなどをまとめた「創立 50 周年記念誌」（Ａ４判、１８４頁）を発刊しました。表紙は当本部の元評議員である永田萠さんによるイラストです。
昭和 20 年代からの社会と兵庫県の主な動き、当本部の事業のあらまし、記念座談会などを掲載しています。

姫路港旅客船ターミナル駐車場

時間貸し
５：００～２１：００　５００円／回
２１：００～６：００　５００円／回

回数券
１１枚綴（１枚サービス）５，０００円

月　極
１区画　月額　１１，０００円

【お問合せ先】
ひょうご埠頭㈱　ＴＥＬ：０７９-２３３-００１１

「スマホサミット in ひょうご 2018」の開催

青少年のネットトラブル防止大作戦の集大成として、「スマホサミット in ひょうご 2018」を平成 30 年 12 月 16 日に開催し、子どもたちがインターネット利用の実態を語る公開討論会や、子どもたちが考えた「ひょうごスマホ宣言 2019」の発表等を行いました。

子どもたちや保護者ら約 300 人が参加し、ネットに潜む危険性や青少年の安全・安心なインターネット利用について、大人と子どもがともに考える良い機会となりました。

【ひょうごスマホ宣言 2019】
（利用時間）
・大切な「今」がスマホに　奪われる
（ネットの危険）
・その画像　世界のどこかで　生きている
（フィルタリング）
・守りたい　親の気持ち　分かってる？
（人間関係）
・消しても消えない　自分の言葉に　責任を

「子どもの居場所づくり交流会 2018」

自分たちのひろばや居場所の魅力の再認識とともに、他団体とつながるきっかけづくりとして平成 30 年 10 月 19 日、『夢がある居場所づくり』をテーマに開催しました。

「まちの子育てひろば」「子どもの冒険ひろば」「若者ゆうゆう広場」に加え、各地域で子育て支援活動等を展開されている方々も含め、約130 人の参加となりました。

当日は、認定 NPO 法人ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ神戸の中村理事長から、居場所の機能についての講話、お互いを知る自己紹介のリード。少し打ち解けた後、

自分たちの取り組みの強み・弱み、これから連携してできることについてグループワーク。参加者からは、立場や環境の違う方と話し合うなかで、「今後取り入れてみたいことがあった」「実現できそうな提案も出てわくわくした」など、“明るい居場所づくり”に向けた意見が数多く出され、活気あふれる会となりました。

少年の主張兵庫県大会「中学生のメッセージ 2018」

県内の中学生たちが日常生活等での体験を通し、考えていることや感じていること、将来の夢などを広く県民に伝える「少年の主張兵庫県大会」を平成 30 年９月22日に兵庫県民会館で開催しました。

当日は、応募者 8,411 人の中から各地区で選抜された 10 人の中学生が、それぞれの主張を力強く発表しました。

最優秀賞には「私達にできること」を発表した明石市立江井島中学校３年の山本千晴さんが選ばれました。沖縄戦から学んだ戦争の恐ろしさを語り継ぎ、世界中の人たちが心の底から笑顔になれる世の中を作りたいという思いを訴えた内容でした。

ひょうご出会い・結婚フェア in あわじ

結婚気運をより一層醸成するため、平成 30 年 12 月 24 日のクリスマスイブにウェスティンホテル淡路で出会い・結婚に関する総合イベントを開催しました。

トークショー、婚活イベント、親向けセミナー等に約 300 人が参加しました。

ステージでは、小林祐梨子さんと２組の成婚カップルから、恋愛、結婚の体験談を交えて参加者へエールを送っていただきました。

婚活参加者は、会話術等のセミナーを受講し婚活力を UP したうえで、イベントを楽しみました。

親向けセミナーでは、講師の熱気あふれる話に会場全体が聞き入り、“婚活” が社会全体の関心事であることをひしひしと感じました。

≪ひょうごふるさと全県交流会≫を開催しました!!

平成 30 年12 月８日～９日、いえしま自然体験センターで１泊２日の交流会を行いました。参加者約 50 人は姫路港からチャーター船に揺られて坊勢島に上陸。コンシェルジュの案内により島内を散策した後、西島に渡り研修がスタートしました。先輩青年隊から話を聞いたり、これまでの活動をまとめ団体ごとに発表することで、青年隊事業への思いも深まったようです。夕食には新鮮な坊勢さば料理をいただき、美味しく楽しく賑やかに交流の輪が広がりました。参加者同士で生まれたつながりが今後どのように活かされるか楽しみです。

阪神南 青少年本部
親子ふれあい　いきいき　わくわく 野球観戦

平成30年8月28日に、阪神南地域の誇りで青少年の憧れの甲子園球場において開催された阪神戦を親子500人が特製の「はばタン」うちわを振って元気に応援しました。

阪神北 青少年本部
若い力の魅力を発信！

平成30年10月27日、阪神北地域の魅力発信イベント「阪神北彩りフェスタ in 伊丹」において、ステージ発表やブース展示、ボランティア参加やＳＮＳ発信など、青少年が持てる力を存分に発揮しました。

東播磨 青少年本部
第 39 回未来をひらく少年会議

平成30年8月24日、小野市において、東播磨と北播磨の中高生109人が参加し、スマホのルールづくりで自分たちにできること、伝えたいことを議論しました。

北播磨 青少年本部
どろん子サッカー大会

平成30年6月3日に県立やしろの森公園の水田で、大学生リーダーの企画・運営による、どろん子サッカー大会を開催しました。

北播磨の小学生83人が参加し、サッカーやドラム缶風呂等を楽しみました。

中播磨 青少年本部
ふれあいカヌー体験会 ～地域の自然とふれあおう～

平成30年7月15日、小学生を対象に、福崎町青少年野外活動センターで「ふれあいカヌー体験会」を開催しました。子どもたちはカヌーを巧みに操り、貴重な体験会になりました。

西播磨 青少年本部
親子ドラゴンボート体験教室

平成30年8月18日に、国内屈指のドラゴンボート強豪チームの青年たちの指導で、子どもとその保護者94人が相生湾に漕ぎ出し、力をあわせてドラゴンボートのレースや遊覧を体験しました。

但馬 青少年本部
さわやか トーク

但馬中学生からのメッセージ事業の一環で、「夢がある　一人ひとりが輝いて」のテーマのもと、過去のメッセージ発表者と小中学生計５人に、自分の夢や希望について発表していただきました。

丹波 青少年本部
たんば 子ども塾

夏休み期間中に、地域の６つの県立高校を小学４年生～６年生が訪ね、高校生が先生となって自然体験、食品加工、工作など様々な活動を体験する「たんば子ども塾」を開催しました。

淡路 青少年本部
淡路島竹灯籠 小学生自然体験ボランティア

地域再生イベント“淡路島竹灯籠”の会場づくりを小学生がお手伝い。自然を感じ地域の人とふれあいながら棚田に竹灯籠を並べ、夕闇に浮かぶ幻想的な景色は人々を魅了しました。

神戸 事務部
未来を拓くひょうごっこセミナー

平成30年8月17日、新長田にある「ふたば学舎」にて、NPO法人ふたばと共催でセミナーを開催しました。

親子ふれあいトークと木工教室を実施し、楽しい体験により親子の絆を深めました。

県立 いえしま 自然体験センター
「西島１day フェスタ」開催

平成30年11月11日、晴天のもと、200人あまりの参加者と地元家島や青少年本部の来賓のご列席をいただき開催されました。

坊勢の漁師さんに底引き網で捕れた物を持ってきていただき、ヒトデや貝殻・ゴミなどが混ざった中から魚やエビなどを選別しました。その魚を格安で販売すると、あっという間に売り切れてしまいました。昼食は、センター名物の海鮮カレーとビーフカレーの食べ放題です。これも鍋がすぐに空になってしまうほど好評でした。その後、カヌーに乗ったり、クラフトをしたりと、とても満足された一日になりました。

県立 こどもの館
高校生等「ふれあい体験ひろば」 Ｘmas フェスティバル in 熊本 ～若者が地域に“しあわせ”運びます！～

平成30年12月23～25日、熊本市動植物園、熊本県庁、仮設住宅等で、兵庫県と熊本県の高校生らによるイベント「Ｘmas フェスティバル」を開催しました。若者が自分と地域に誇りを持つことを目的に実施している「ふれあい体験ひろば」の県外初開催で、阪神・淡路大震災、熊本地震を経験した両県の生徒約150人が手を携え、復興を後押しする“元気”を届けました。

「ふれあいステージ」では、仮設住宅で暮らす子どもも参加し、吹奏楽、ダンス、バレエ、合唱等を披露。「播州織」のファッションショーでは、熊本高校の生徒もモデルをつとめ、ドレスやスーツを着こなして登場し会場を盛り上げました。「ふれあいブース」では、防災バッグや倒れても起き上がる起き上がりこぼしの製作、バルーンアートなどで来園者に楽しんでいただきました。

熊本県庁では蒲島熊本県知事にもご参加いただき「しあわせ運べるように」を合唱、熊本高校伝統の「げんこつ」を全員で唱和するなど、地域に“しあわせ”を運びました。

みんなハッピー！クリスマス

平成30年12月22日、全館でクリスマスイベントを開催しました。

プリザーブドフラワーを使ったリースやバルーンで作るクリスマスグッズ、クリスマスバッグづくりなどの工作、クリスマスコンサート（ハンドベル体験）、劇あそびなど、盛りだくさんのイベントで、来館した子どもたちは少し早いクリスマスを満喫しました。

クリスマスグッズづくりの参加費（12,216円）は、平成30年７月豪雨災害児童館活動支援募金に寄付をしました。

県立 神出学園
平成 30 年度新春フェスティバル

平成31年1月15日、青少年本部創立50周年記念事業として、「新春フェスティバル」を当学園で開催しました。日本古来の遊びである「百人一首」、「とんど焼き」や「餅つき」などを通して、伝統文化の良さを五感で体験することができました。今回は、三木市の「別所ともえ太鼓会」による和太鼓演奏も加わり、会場のムードは一気に盛り上がりました。

当日は、地元の保育園児などを招き、学園生とともに学園手製の道具で火を起こしたり、ついた餅を色々な味で食べ比べをしたりと、アットホームな雰囲気の中で和やかな日を過ごすことができました。

県立 山の学校
「いかして山学フォーラム」開催

平成30年12月9日、姫路市で「いかして山学フォーラム」を開催しました。広く県民にも参加を募り、約100人に来場いただきました。

生徒による活動紹介では、本年度の取り組みで心に残った３つの活動（千種川沿い縦走、花台づくり、災害ボランティア）を紹介。記念講演では、「生きるチカラ・自然のチカラ」と題して、清水国明氏に講演いただきました。また、パネルディスカッションでは清水氏を交え、山の学校が果たしてきた役割と今後の展望について活発に議論が交わされました。

県立 兎和野高原野外教育センター
“秋の兎和野・灘川平”山岳歩こう会

平成30年10月14日、秋真っ盛りの兎和野・灘川平を歩こうと130人の方が集まりました。青少年本部50周年記念行事の説明後、兎和野高原をスタート。「日本の秘境100選」にも選ばれている灘川渓谷を目指します。グループを二つに分けて出発。はちまき展望台からの絶景を楽しんだあとは、高さ55mの灘川滝まで行く「特Ａコース」、二つに分かれた姿が見事な双身の滝までの「Ａコース」。どちらも灘川稲荷休憩棟で合流。金賞米のおにぎりと豚汁、杵でついたとち餅もいただいて、体も心もほっこり大満足。大福岩に囲まれた灘川稲荷神社を参拝して兎和野高原に戻りました。